

四半期報告書

(第45期第2四半期)

自 平成23年7月1日
至 平成23年9月30日

株式会社 エヌアイデイ

千葉県香取市玉造三丁目1番5号

(E05322)

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 1
- 2 事業の内容 1

第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク 2
- 2 経営上の重要な契約等 2
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 2

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 4
- (2) 新株予約権等の状況 4
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 4
- (4) ライツプランの内容 4
- (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 4
- (6) 大株主の状況 5
- (7) 議決権の状況 6

2 役員の状況 6

第4 経理の状況 7

1 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 8
- (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 10
- (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 11

2 その他 17

第二部 提出会社の保証会社等の情報 17

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月14日
【四半期会計期間】	第45期第2四半期（自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日）
【会社名】	株式会社エヌアイデイ
【英訳名】	Nippon Information Development Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 鈴木 清司
【本店の所在の場所】	千葉県香取市玉造三丁目1番5号
【電話番号】	0478（52）5371
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 下山 和郎
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿七丁目6番4号
【電話番号】	03（3365）2621（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 下山 和郎
【縦覧に供する場所】	株式会社エヌアイデイ 本店営業所 （東京都新宿区西新宿七丁目6番4号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第44期 第2四半期連結 累計期間	第45期 第2四半期連結 累計期間	第44期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高（千円）	7,127,141	7,217,009	14,638,195
経常利益（千円）	371,638	377,529	994,124
四半期（当期）純利益（千円）	92,105	218,016	447,667
四半期包括利益又は包括利益 （千円）	96,954	202,167	461,654
純資産額（千円）	5,745,449	6,141,965	6,110,150
総資産額（千円）	10,146,806	10,625,260	10,660,906
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	24.33	57.59	118.26
潜在株式調整後1株当たり 四半期（当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	56.6	57.8	57.3
営業活動による キャッシュ・フロー（千円）	589,961	595,446	761,100
投資活動による キャッシュ・フロー（千円）	206,218	△78,010	204,253
財務活動による キャッシュ・フロー（千円）	△172,503	△172,571	△175,656
現金及び現金同等物の 四半期末（期末）残高（千円）	4,693,785	5,204,670	4,859,806

回次	第44期 第2四半期連結 会計期間	第45期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 （円）	14.45	30.53

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第44期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」（企業会計基準第25号 平成22年6月30日）を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、甚大な被害をもたらした東日本大震災による厳しい状況から徐々に持ち直しの動きが見られるものの、海外景気減速の影響や急激な円高進行等により、先行き不透明な状況で推移しております。

当社グループの属する情報サービス業界においては、震災の影響などにより企業はIT投資に慎重な姿勢を示しており、厳しい受注環境が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、既存顧客に対する現場営業の徹底と、「とる営業」から「生み出す営業」への転換などにより営業体制を強化し、受注獲得に努めました。また、既存分野の事業に加えて付加価値ビジネスへも取り組み、当社グループの技術を生かしつつ新たな事業領域の拡大を目指しております。その中心として当社独自に開発した、Android向けサービスプラットフォーム「Nstylist」（注1）の販売展開及び「Nstylist」を利用したスマートフォン向けアプリ開発に注力しております。

売上面では、NID東北が震災の影響により受注減となりましたが、当社の特徴であるバランス経営の強みを生かし、より密にグループ間相互で連携し、売上増強に努めました。また、収益面では、超過勤務管理の徹底や非稼働人員の撲滅等の施策を実施しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高7,217,009千円（前年同四半期比1.3%増）、営業利益368,846千円（同1.3%増）、経常利益377,529千円（同1.6%増）、四半期純利益218,016千円（同136.7%増）となりました。

注1「Nstylist」：タブレットやスマートフォンなどのAndroid OS端末に搭載することで、企業のニーズに対応するアプリケーションサービスを簡単に作成・提供できます。また、専用サーバーの「Nstylist server」と「Nstylist」搭載端末がダイレクトに連携し、シームレスな情報管理を実現するとともに、システムインフラの保守・運用を総合的にサポートします。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①通信システム事業

当事業では、自動車やスマートフォン関連の受注が増加しました。この結果、売上高は1,683,884千円（前年同四半期比18.5%増）、営業利益66,337千円（同45.8%増）となりました。

②情報システム事業

当事業では、生損保、共済関連の受注は安定的に推移しましたが、流通・製造、官公庁の受注が減少しました。この結果、売上高は1,369,994千円（同5.4%減）、営業利益108,059千円（同16.7%減）となりました。

③ネットワークソリューション事業

当事業では、運輸業や生損保、物流等の主要顧客からの受注は安定的に推移しましたが、官公庁関連の受注は減少しました。この結果、売上高は2,182,924千円（同5.4%減）、営業利益89,723千円（同28.2%減）となりました。

④NID・IS

当事業では、データ入力関連の受注は減少しましたが、システム開発の受注は増加しました。この結果、売上高は1,264,080千円（同22.0%増）、営業利益66,972千円（同95.7%増）となりました。

⑤NID・IE

当事業では、顧客との関係を強化して受注確保に努めるとともに稼働率の向上に取り組みました。この結果、売上高は406,947千円（同2.6%増）、営業利益41,658千円（同208.4%増）となりました。

⑥NID東北

当事業では、震災の影響により電力関連顧客のIT投資が延期され、厳しい状況で推移しました。この結果、売上高は309,178千円（同40.1%減）、営業損失4,413千円（前年同四半期は営業利益19,919千円）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の四半期末残高は5,204,670千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は595,446千円（前年同四半期は589,961千円の増加）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益が375,472千円となったこと、売上債権の減少により資金が475,045千円増加したこと、たな卸資産の増加により資金が160,667千円減少したこと、仕入債務の減少により資金が86,914千円減少したこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は78,010千円（前年同四半期は206,218千円の増加）となりました。これは主に、無形固定資産の取得により49,184千円を支出したこと、有形固定資産の取得により14,190千円を支出したこと、投資有価証券の取得により12,367千円を支出したこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は172,571千円（前年同四半期は172,503千円の減少）となりました。

これは主に、配当金の支払により169,636千円を支出したこと等によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、26,334千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数 (株)
普通株式	17,479,320
計	17,479,320

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数 (株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成23年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	4,369,830	4,369,830	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	4,369,830	4,369,830	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高 (千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	—	4,369,830	—	653,352	—	488,675

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (百株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
小森 孝一	千葉県香取市	6,385	14.61
小森 俊太郎	千葉県香取市	6,226	14.24
株式会社エヌアイデイ	千葉県香取市玉造3-1-5	5,842	13.36
エヌアイデイ従業員持株会	東京都新宿区西新宿7-6-4	3,327	7.61
有限会社クリエートトニーワン	千葉県香取市佐原イ531	2,337	5.34
小澤 忍	千葉県千葉市中央区	1,477	3.38
ゴールドマン・サックス・ア ンド・カンパニーレギュラーアカウ ント(常任代理人ゴールドマン・ サックス証券株式会社)	200 WEST STREET NEW YORK, NY, USA (東 京都港区六本木6-10-1六本木ヒルズ森タワ ー)	1,426	3.26
竹田 和平	愛知県名古屋市天白区	1,000	2.28
ベイリーギフォードシンニッポン ピーエルシー(常任代理人株式会 社みずほコーポレート銀行決済営 業部)	CALTON SQUARE 1 GREENSIDE ROW EDINBURGH EH1 3AN SCOTLAND (東京都中 央区月島4-16-13)	924	2.11
鈴木 清司	東京都清瀬市	886	2.02
計	—	29,833	68.27

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 584,200	—	単元株式数100株
完全議決権株式 (その他)	普通株式 3,783,300	37,833	同上
単元未満株式	普通株式 2,330	—	—
発行済株式総数	4,369,830	—	—
総株主の議決権	—	37,833	—

② 【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数 (株)	他人名義所有株式数 (株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合 (%)
株式会社 エヌアイデイ	千葉県香取市玉造 三丁目1番5号	584,200	—	584,200	13.36
計	—	584,200	—	584,200	13.36

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新宿監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,934,693	5,286,181
受取手形及び売掛金	2,419,087	1,944,041
有価証券	1,038	1,038
仕掛品	213,083	375,631
繰延税金資産	435,309	444,265
その他	213,186	116,085
流動資産合計	8,216,398	8,167,244
固定資産		
有形固定資産		
土地	136,767	136,767
その他(純額)	100,776	102,662
有形固定資産合計	237,544	239,430
無形固定資産		
ソフトウェア	188,639	189,691
その他	45,822	58,656
無形固定資産合計	234,461	248,347
投資その他の資産		
投資有価証券	420,360	400,943
繰延税金資産	1,000,150	1,020,078
差入保証金	477,874	476,050
その他	74,115	73,165
投資その他の資産合計	1,972,501	1,970,238
固定資産合計	2,444,507	2,458,016
資産合計	10,660,906	10,625,260

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	358,761	271,846
未払金	278,391	271,359
賞与引当金	900,155	906,791
未払法人税等	165,270	187,639
その他	298,750	280,913
流動負債合計	2,001,329	1,918,550
固定負債		
退職給付引当金	2,046,087	2,060,468
役員退職慰労引当金	381,925	392,112
その他	121,415	112,164
固定負債合計	2,549,427	2,564,744
負債合計	4,550,756	4,483,294
純資産の部		
株主資本		
資本金	653,352	653,352
資本剰余金	488,675	488,675
利益剰余金	6,244,548	6,292,213
自己株式	△1,226,363	△1,226,363
株主資本合計	6,160,212	6,207,878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△50,062	△65,912
その他の包括利益累計額合計	△50,062	△65,912
純資産合計	6,110,150	6,141,965
負債純資産合計	10,660,906	10,625,260

(2) 【四半期連結損益及び包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	7,127,141	7,217,009
売上原価	5,888,998	5,965,877
売上総利益	1,238,143	1,251,131
販売費及び一般管理費	※ 874,059	※ 882,284
営業利益	364,083	368,846
営業外収益		
受取利息	1,075	78
受取配当金	3,439	4,308
助成金収入	9,625	3,545
その他	2,925	4,206
営業外収益合計	17,066	12,138
営業外費用		
支払利息	876	793
投資事業組合運用損	6,433	627
その他	2,201	2,035
営業外費用合計	9,511	3,455
経常利益	371,638	377,529
特別利益		
固定資産売却益	—	101
投資有価証券売却益	915	—
貸倒引当金戻入額	3,379	—
特別利益合計	4,294	101
特別損失		
固定資産売却損	144	—
固定資産除却損	70	88
投資有価証券評価損	193,779	—
会員権評価損	—	1,800
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,130	—
その他	—	270
特別損失合計	200,125	2,158
税金等調整前四半期純利益	175,807	375,472
法人税、住民税及び事業税	113,480	175,465
法人税等調整額	△29,778	△18,009
法人税等合計	83,701	157,455
少数株主損益調整前四半期純利益	92,105	218,016
四半期純利益	92,105	218,016
少数株主損益調整前四半期純利益	92,105	218,016
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,848	△15,849
その他の包括利益合計	4,848	△15,849
四半期包括利益	96,954	202,167
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,954	202,167

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	175,807	375,472
減価償却費	67,088	70,881
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	36,952	14,381
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	11,337	10,187
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,379	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,186	6,636
投資事業組合運用損益 (△は益)	8,399	2,561
受取利息及び受取配当金	△4,514	△4,386
支払利息	876	793
投資有価証券売却損益 (△は益)	△915	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	193,779	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	144	△101
有形固定資産除却損	70	88
会員権評価損	—	1,800
売上債権の増減額 (△は増加)	374,437	475,045
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△115,859	△160,667
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	49,227	94,553
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	130	△154
仕入債務の増減額 (△は減少)	△38,960	△86,914
未払金の増減額 (△は減少)	△46,147	△36,789
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△11,376	△8,550
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	20,148	△9,756
その他	△3,837	3,166
小計	720,598	748,246
利息及び配当金の受取額	4,514	4,386
利息の支払額	△876	△793
法人税等の支払額	△134,274	△156,393
営業活動によるキャッシュ・フロー	589,961	595,446

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△300	△12,367
投資有価証券の売却及び償還による収入	300,000	500
有形固定資産の取得による支出	△20,271	△14,190
有形固定資産の売却による収入	38	114
無形固定資産の取得による支出	△48,214	△49,184
その他	△25,032	△2,882
投資活動によるキャッシュ・フロー	206,218	△78,010
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	460,000	410,000
短期借入金の返済による支出	△460,000	△410,000
配当金の支払額	△170,209	△169,636
その他	△2,294	△2,935
財務活動によるキャッシュ・フロー	△172,503	△172,571
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	623,676	344,864
現金及び現金同等物の期首残高	4,070,109	4,859,806
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 4,693,785	※ 5,204,670

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間
(自 平成23年4月1日
至 平成23年9月30日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
役員報酬	151,882 千円	154,950 千円
給料手当	261,578	255,520
賞与引当金繰入額	85,251	83,755
退職給付費用	12,493	12,282
役員退職慰労引当金繰入額	11,337	10,187
不動産賃借料	66,045	65,671
法定福利費	53,035	51,021

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

当社グループでは、システム開発事業において、売上高の計上の基準となる検収が当第2四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期に集中する傾向があるため、第1四半期連結会計期間及び第3四半期連結会計期間と比べ売上高が高くなっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
現金及び預金勘定	4,763,045 千円	5,286,181 千円
有価証券勘定	1,038	1,038
預入期間が3か月を超える定期預金	△69,179	△81,190
別段預金勘定	△1,118	△1,359
現金及び現金同等物	4,693,785	5,204,670

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月25日 定時株主総会	普通株式	170,351千円	45円	平成22年3月31日	平成22年6月28日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	170,351千円	45円	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計
	通信システム事業	情報システム事業	ネットワークソリューション事業	NID・IS	NID・IE	NID東北	
売上高							
外部顧客への売上高	1,421,275	1,448,826	2,308,296	1,036,255	396,574	515,913	7,127,141
セグメント間の内部売上高又は振替高	23,804	31,018	32,243	278,953	343,104	9,974	719,098
計	1,445,080	1,479,844	2,340,540	1,315,209	739,679	525,887	7,846,239
セグメント利益	45,489	129,684	125,006	34,214	13,506	19,919	367,820

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	367,820
セグメント間取引消去	1,732
全社費用（注）	△5,018
その他	△450
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	364,083

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						合計
	通信システム事業	情報システム事業	ネットワークソリューション事業	NID・IS	NID・IE	NID東北	
売上高							
外部顧客への売上高	1,683,884	1,369,994	2,182,924	1,264,080	406,947	309,178	7,217,009
セグメント間の内部売上高又は振替高	20,793	35,292	46,916	263,591	347,124	17,649	731,368
計	1,704,678	1,405,287	2,229,840	1,527,672	754,071	326,827	7,948,377
セグメント利益又は損失（△）	66,337	108,059	89,723	66,972	41,658	△4,413	368,336

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	368,336
セグメント間取引消去	1,533
全社費用（注）	3,643
その他	△4,667
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	368,846

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)
1 株当たり四半期純利益金額	24円33銭	57円59銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	92, 105	218, 016
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	92, 105	218, 016
普通株式の期中平均株式数 (千株)	3, 785	3, 785

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月14日

株式会社エヌアイデイ

取締役会 御中

新宿監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 田中 信行 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 末益 弘幸 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エヌアイデイの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エヌアイデイ及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月14日
【会社名】	株式会社エヌアイデイ
【英訳名】	Nippon Information Development Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 鈴木 清司
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	千葉県香取市玉造三丁目1番5号
【縦覧に供する場所】	株式会社エヌアイデイ 本店営業所 (東京都新宿区西新宿七丁目6番4号) 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役鈴木清司は、当社の第45期第2四半期（自平成23年7月1日 至平成23年9月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。